

【岸辺駅周辺のまちづくりについて】

令和6年2月29日 後藤議員(吹田党)

◆議員 岸辺駅周辺のまちづくりについてお聞きいたします。

国立循環器病研究センター及び市民病院ができて5年程度がたちました。健都のまちづくりを担当された職員の皆様には本当に尽力いただき、いいまちづくりができたとは思っておりますが、今思えば、病院のリザーブ用地や地下水熱といった言葉に翻弄されてイノベーションパーク、国循、市民病院などの位置関係を固定させてしまった反省が私の中にはあります。多額の税金が本市ではなく、お隣の市に入る現状を見て、言い方は悪いですが、愕然とする気持ちがあります。検討段階の時期に、今のイノベーションパークの場所はリザーブ用地ではなくなってしまうし、エネルギーを循環させる地下水熱事業のため、国循と市民病院を隣接させる必要もなくなっていました。そのときに位置関係を再検討するべきだと、自分が気づけなかったことに反省があります。

失敗ではないんですが、反省することが次につながると思いますので、ぜひそういう気持ちを皆さんも持っていただきたいなと思います。

さて、まだまだ、岸辺駅周辺には本市の所有する未利用地がありますし、既に利用している土地も在り方を問い直す時期に来ていると思います。もうまちができて5年ほどであります。周辺の変化ものんびりしている暇はないです。岸辺駅周辺で、今後計画される本市の土地利用などに関して考え得ることをお答えください。

また、国立循環器病研究センター、国立健康・栄養研究所等が地域住民や市民に対してどんな事業を展開をしているのか、私も岸部周辺に住んでおりますが、特に報告も連絡もございませんので、お教えてください。

答弁(都市計画部)

岸辺駅周辺において本市が所有する未利用地につきましては、周辺に公共施設が多数立地しています。また、健都に近接しているという状況からも、将来、公共施設の建替え時の活用や、健都の連続性を誘導する活用など、様々な活用方法が考

えられます。

こうしたことから、当該未利用地の活用のあり方につきましては、公共施設最適化の考え方を踏まえつつ、周辺の施設のあり方と合わせた総合的な検討が必要と考えています。

今後、庁内での連携をさらに深め、検討して参りたいと考えています。

【岸部のまちづくりと光のひろばのリニューアルについて】

令和6年6月12日 乾議員（大阪維新の会）

◆議員 岸部のまちづくりと光のひろばのリニューアルについてお伺いします。昨年7月議会の個人質問で、岸部中1丁目・2丁目には、公共施設や未利用の公有財産が多数あり、ことぶき保育園や岸部診療所の跡地の活用も含めて地域の声を聞きながら、まちづくりの視点で地域の整備計画を策定してはいかがでしょうか、と質問し、それに対する都市計画部長の答弁では、当該地域に点在する公共施設や公有地につきましては、公共施設の最適化や各施策の方向性の他、地域全体を俯瞰したまちづくりの視点を持ち、地域の現状を踏まえ、引き続き関係部署と連携し、そのあり方について検討してまいります、とありましたが、答弁からおおむね1年が経ちますが、どのように検討が進んでいるのか、その進捗状況とまちづくりの検討内容を具体的にお聞かせください。

また、光の広場の管理等は老朽化のため建て替えの時期が近づいていると思いますが、管理棟の建て替えに合わせて光の広場をアーバンスポーツも含めた青少年のニーズを捉えた施設にリニューアルしてはと考えますが、いかがでしょうか。

リニューアルに当たっては、国費を活用できる機会もあると思いますが国費メニューについて調査検討等が行われていればお答えください。

答弁（都市計画部）

岸部中地域に点在する公共施設や公有地のあり方につきましては、各施設で各施設での個別の検討はもとより、まちづくりの視点や中長期的な視点を持ち、庁内横断的に検討する必要があることから、関係部局間においてそれらの意識を共有し、連携情報共有を図るため、岸部中地域のまちづくりに係る連絡調整会議を設置し

たところでございます。

今後、公共施設や公有地が多数立地しているといった当該地域の特性やそれらの公共施設の老朽化が進んでいる現状を踏まえ、まちづくりのあり方も含めて引き続き検討してまいります。

答弁（地域教育部）

光の広場を含む青少年クリエイティブセンターにつきましては、施設の老朽化が進んでおり、大規模改修や建て替え等を検討する必要があると考えております。

また、岸部中地域のまちづくりのあり方の検討状況も考慮しつつ、関係部局とも情報共有しながら、本市の青少年が有効に活用できる施設となるよう検討を進めてまいります。

なお将来的に施設の活用方法が、一定、定まった時点で、関係部局とも調整し、財源確保についても検討してまいります。